



RI会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 千葉 正徳

クラブ研修委員会

館山RC 川名 光俊

環境委員会

館山RC 吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 一憲

幹事

中村 満

クラブ会報委員長

渡邊 ヒロ子

副委員長

渡邊 昌俊

委員

牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

斎藤 麻美子

### 10月15日(金)のプログラム

・ゲスト卓話 【勝浦の魅力】

常盤大学教授 塚原正彦氏

### 本日(10/22)のプログラム

・ガバナー公式訪問

・クラブ協議会

### 今後の例会プログラム

10/29(金)ゲスト卓話

【現代に生きる江戸しぐさ】

桐山 勝氏

11/5(金)は

11/7(日)の地区大会に振替

### CURRENT TOPICS ~ 『みんなでつくるふるさとミュージアム勝浦』

参加する一人ひとりが学びを深めることができるミュージアムを作ろうというテーマで、お話いただきます。勝浦の朝市に何度も調査に来てくださっており、勝浦についてたいへん詳しい塚原先生、弓場先生のお話から地域を活性化する、元気になる素を見つけたいと思います。

(渡辺幸男 プログラム委員長)



(写真左から 常盤大学教授 塚原正彦氏・日本地域資源学会 弓場哲雄氏・

勝浦市観光協会 常任理事 江澤修氏)

### 会長挨拶 関一憲会長

南米チリでの感動的救出劇のなかで、彼らの行動を見ながら日本人なら、どのような行動をとるのだろうかと考えてみました。救出される側は自分が最後まで穴の中に残ってギネスブックに載りたい。

などといったそうで、なんとも明るく前向きな考え方だと感心しました。同じ状況、環境の中でも、考え方の違いで大きく変わると思います。南米の明るさを見習いたいと感じました。

また、7月の夜間例会開催時にスリランカのコロンボRCから訪問者がありました。その後、電子メールでのやり取りと勝浦ロータリークラブ



のバナーをエアメールにて送りました。そのお礼の手紙が届いております。たった一枚の名刺から共通の話題を持って、心が繋がっていくロータリーの組織はすごいと思いました。もう一度訪問したいとメールに書いてありました。それから、スリランカのロータリー80周年記念切手も同封されております。次週は素晴らしいガバナーが勝浦RCに公式訪問していただけます。楽しみですね。



**委員会報告**

**親睦委員会 中村昇委員長**

毎回お話をさせていただいております、1泊例会の件ですが、まだまだたくさんの方の参加をお願い致します。

**ニコニコBOX 親睦委員会**

**結婚記念日 石井美香子 君**

優しい夫と37年間、幸せに暮らしております。ありがとうございました。



**自主申告 鈴木寛三郎 君**

今日の会報に写真が載っていましたが、国体の馬術競技に応援・協力できたことを嬉しく思っております。



**自主申告 釜田英之 君**

チリの鉱山落盤事故で、33名全員が無事助かることを願いながらTVにかじりついていました。一人助かるたびに泣いていました。



**ゲスト卓話：『ふるさとミュージアム勝浦』**

常磐大学教授・日本地域資源学会代表理事 **塚原正彦氏**

～～～勝浦の朝市から見える暮らしのかたち～～～

若者から見た勝浦、ということで学生たち（教え子）に何度か勝浦に来て写真を撮ってもらったところ、1回目、朝市の写真・・・単なる商業場としての様子しか見えませんでした。

2回目の朝市の写真には、単なるビジネスではなく、そこには『幸せなかたち』が写っていた。朝市の昔話や勝浦についてお話してくれたおばあちゃんの姿。

3回目の写真では、売り子のおばあちゃんと買う人が、ともに語り合う様子。



その学生は、朝市が大切なコミュニケーションの場になっていることを学びました。



また港で水揚げの様子を写真に撮った学生は、小学生の子どもが親を手伝っている姿をおさめました。また、男の人がかつおのうちくを語りながら見事な包丁捌きでかつおをさばいて



いる姿に感動したと言います。どちらも今の都会では見れない光景でした。これらはみんな、これからの日本にたいせつなもの、ふるさとのお宝です。『こんな幸せなかたちを見つけに来てください。』と発信すること、これがミュージアム活動です。

～～～ふるさとミュージアムをつくろう～～～

過去に創られたものやびっくり仰天するものを陳列する場、教科書に出てくるような立派な文化財を展示する場がミュージアムと思いがちですが、目に見えないその土地の暮らしの力（ふるさとへの愛着、絆、知恵）に目を向けると、その土地に暮らしている一人ひとりが主役になることができます。私がイギリス滞在中に学んだ

『ミュージアム国富論』イギリス文化を、英語を学びに来てください。とアピールし、それが国を



元気にし、豊かにしています。行政ではなく、一人ひとりがアーティストであると自覚して、幸せに生きている姿を見せる。それを見つけに、あるいは学びに来る。

勝浦で言えば、海、山、海産物、朝市、祭り、文化そして人、すべてがミュージアムの主役になるものばかりです。未来を育み、暮らしを豊かにしてくれる宝物がたくさん眠っていることに気づくことができます。

みんなが参加して、あらゆる人々の知恵を出し合い、磨き上げる事ができれば、その宝物はかけがえのないものになるでしょう。その知恵をぜひ世界に発信してください。参加する一人ひとりが学びを深めることができるミュージアムをつくろうと考えております。

**出席報告 10 / 15 (金) 出席委員会 (関祐介委員長)**

会員	出席	MU	欠席	出席率
43名	30名	4名	9名	79.07%

**欠席者：**浅野玄航 斎藤麻美子 西川佳璋 古川範男 前田安彦 本吉幸子 吉野裕子 渡辺 保 内田秀実